

平成31年度 障害者就労促進チャレンジ事業 事業報告書

平成31年度は、企業向け見学会を5回、法定雇用率未達成企業相談会を8回、障害者向け見学会を3回開催し、短期職場実習80件を実施することを目標とした。千葉労働局の協力のもと、各ハローワークから法定雇用率未達成企業等への案内文送付の協力を頂けたこと、千葉労働局が実施する「0人雇用企業支援」と3圏域でタイアップし、共催という形で実施したことなどもあり、対象企業からの反応は良かった。しかし年度の後半になり、新型コロナウイルス流行の影響によって企業相談会3回を開催中止とせざるを得なくなり、結果的に目標値を下回ることとなってしまった。具体的な開催状況については別紙【平成31年度障害者就労促進チャレンジ事業実施状況】参照。

I 企業等の理解促進

・企業向け見学会

5圏域で開催し、障害者雇用において先駆的な取り組みをしている企業や今後雇用が伸びていくと思われる業種で障害をお持ちの方が活躍している企業を見学し、全体で47企業、11機関、81名が参加され、最終的に9社が障害者雇用を実施している。

・法定雇用率未達成企業相談会

5圏域で開催し実際に障害者雇用をした際のイメージがつきやすいよう、障害者雇用を行っている企業やハローワークでの勉強会等で支援機関との意見・情報交換などを行い、29企業、11機関、34名が参加され、最終的に4社が障害者雇用を実施している。

印旛圏域、市原圏域、夷隅圏域で開催企画をしており、すでに申し込み企業が多数あったものの、残念ながら開催中止となり、大幅に目標数値を下回ることとなってしまった。

II 障害のある人等の意識改革

今年度は3圏域で開催し、計41名の障害当事者、保護者、支援者等が参加し、企業見学・企業担当者や障害当事者との意見交換・参加者間の情報交換等を行った。

この見学会を経て今まで就業は難しいだろうと考えていた障害当事者やその周りの方が、就業に目を向ける良いきっかけになり、15名の方が就労に至っている。

III 短期職場実習

企業支援員と協力しながら、実習企業の開拓を行った。令和3年3月に法定雇用率が改正されることも受けて、実習を受け入れる企業側の意識も高かった。

今年度も各センター概ね5回、全体で80回、基本的に1回あたりの実習日数を5日程度として、事業実施を行い、問題なく取り組めた。

結果としては129回延べ633日の実習を行うことが出来、さらに実習をきっかけに就職された方は78名となっている。